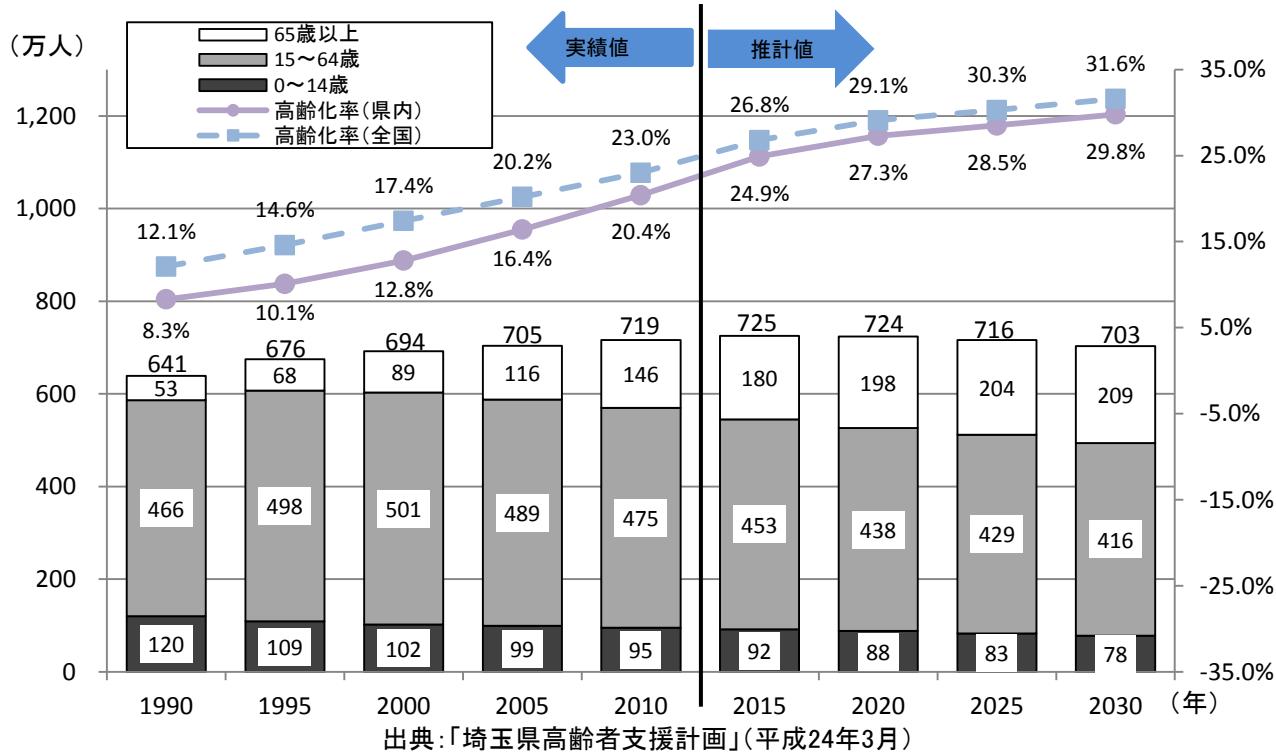


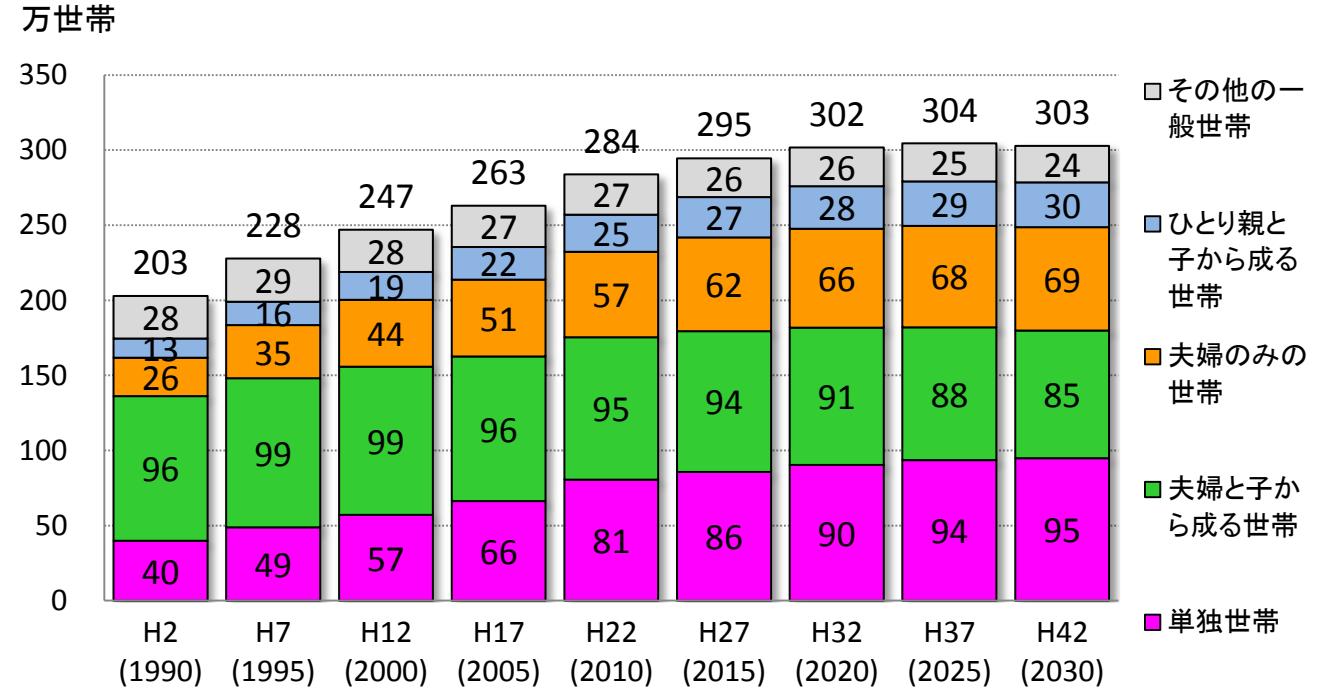
埼玉県の将来人口及び高齢化率の推移

- 人口は2010年に約719万人。2015年頃をピークに減少に転じ、2030年頃には約703万人まで減少する見通し。
- 高齢化の急速な進展により、本県の高齢化率は2020年頃に約27%、2030年頃には約30%となる見通し。



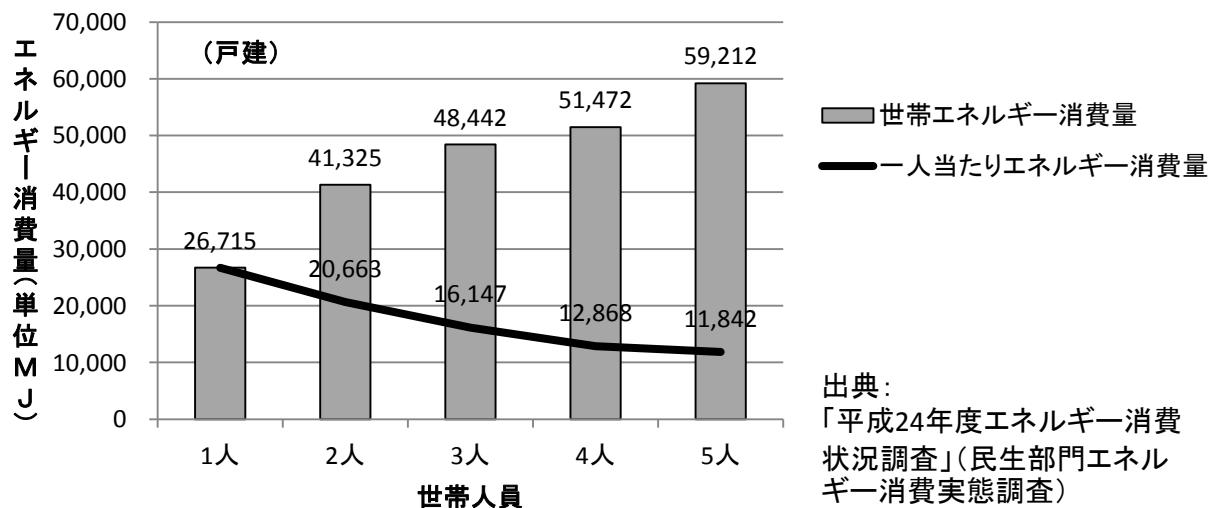
埼玉県の家族類型別一般世帯数の見通し

- 一般世帯数は2010年に約284万世帯。今後、2025年頃まで増加の見通し。
- 単独世帯数は2010年に約81万世帯。今後、大幅な増加が見込まれ、2030年頃には約95万世帯と、全体の3割超を占める見通し。



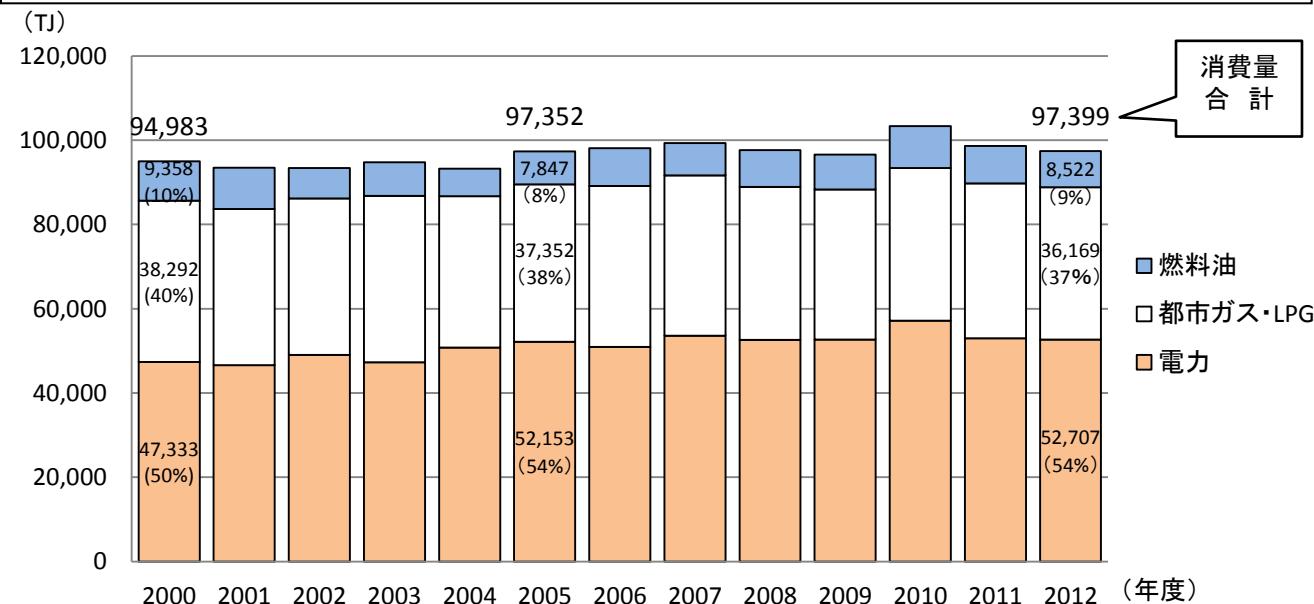
世帯人員別エネルギー消費量 (全国)

- 世帯人員が増えるほどエネルギー消費量は増加するが、一人当たりエネルギー消費量は減少する傾向にある(世帯人数が少ないほど、一人当たりエネルギー消費量大きい)。



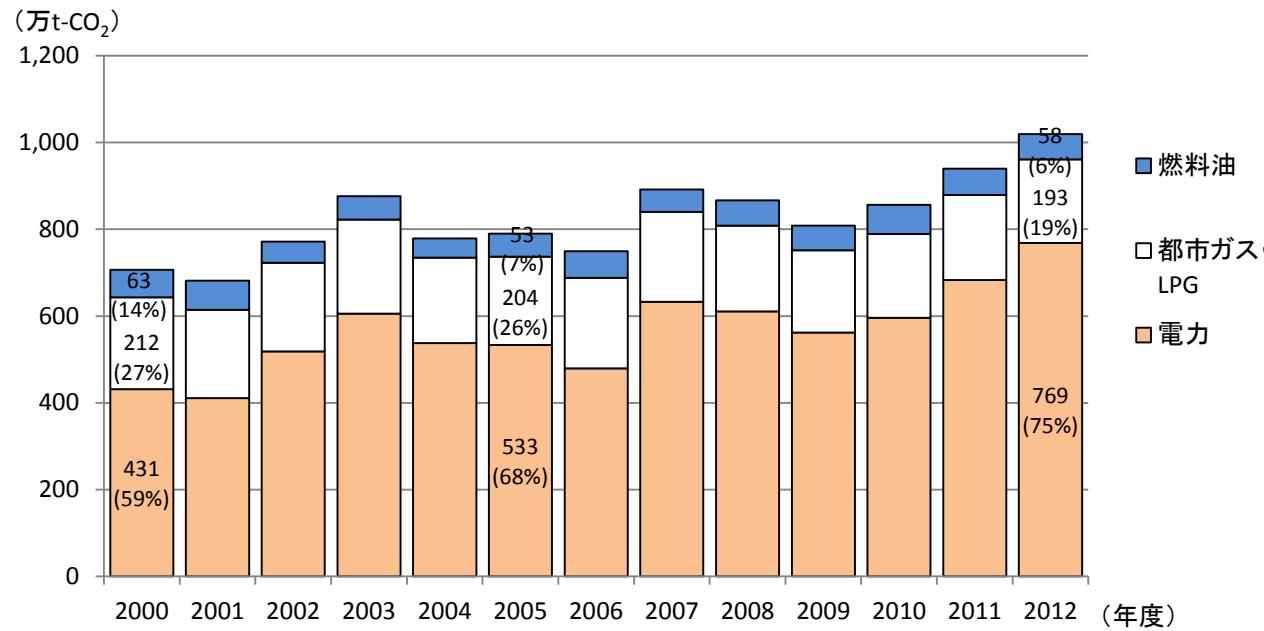
埼玉県の家庭部門の燃料種別エネルギー消費量の推移

- 家庭部門の2012年度のエネルギー消費量は、2005年度比でほぼ横ばい。
- 燃料種別では、2005年度比で電力が1.1%、燃料油が8.6%増加し、都市ガス・LPGが3.2%減少(2012年度)。



埼玉県家庭部門の燃料種別CO₂排出量の推移

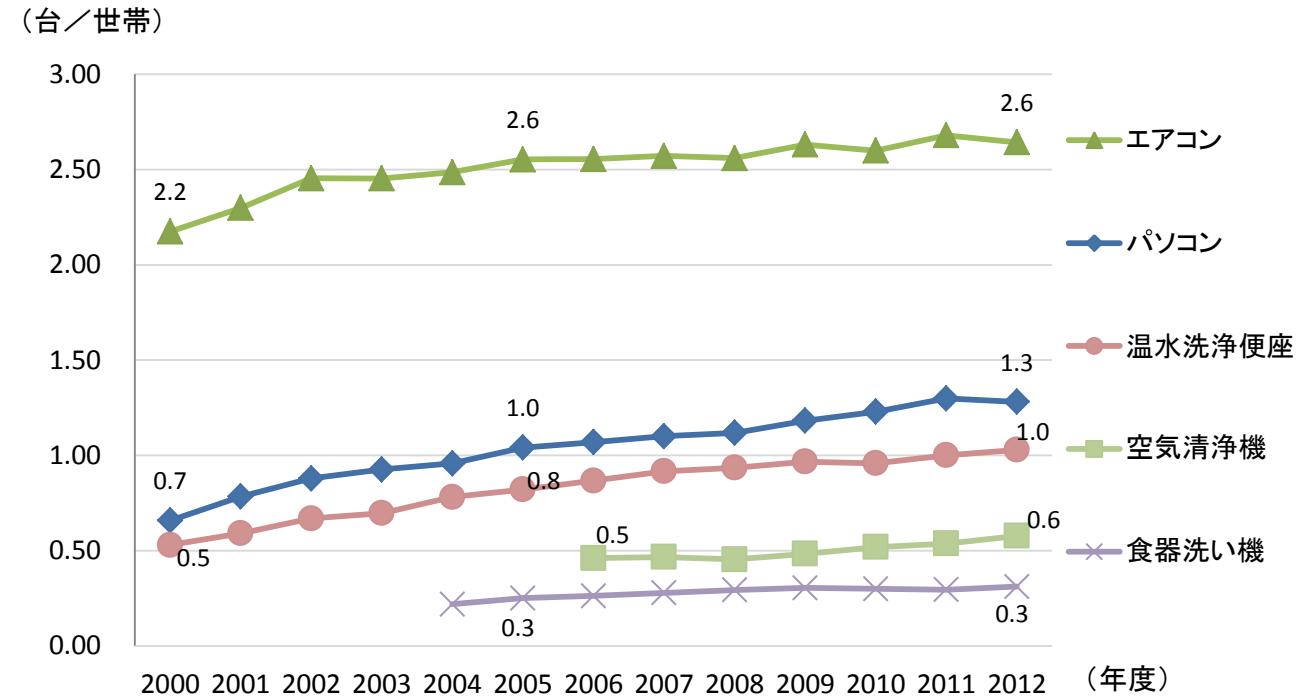
- 2012年度の燃料種別CO₂排出量は、電力からの割合が75%を占めている。
- 全体の排出量に占める割合は、2005年度比で電力が7%増加、都市ガス・LPGが7%、燃料油が1%の減少（2012年度）。



※ 電力のCO₂排出係数は、各年度の値を適用。
 ※ 各年度の排出量は、最新の統計値により再計算した値。

家庭用エネルギー消費機器の保有台数の推移 (全国)

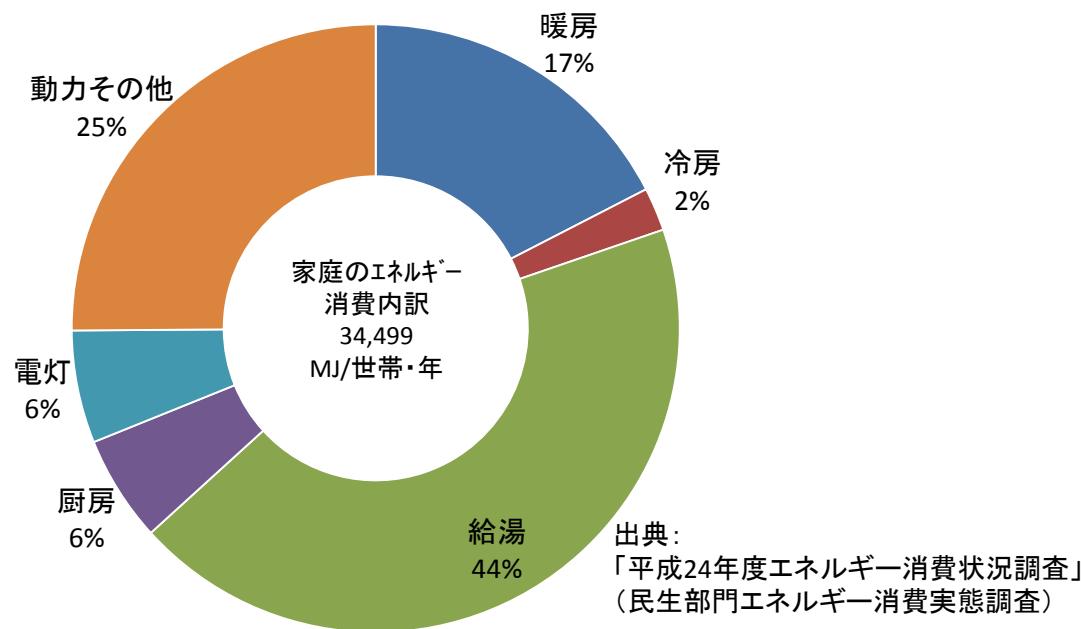
- 2012年度の世帯当たり保有台数は、パソコン1.3台(2005年度比0.3台増)、温水洗浄便座1.0台(同0.2台増)、空気清浄機0.6台(同0.1台増)。



出典:「消費動向調査」(内閣府)

家庭のエネルギー消費内訳 (南関東)

- 家庭の用途別エネルギー消費は、給湯に占める割合が44%と最も大きく、次いで動力その他(25%)、暖房(17%)の順となっている。



高効率給湯器の普及台数 (全国)

- 2012年の高効率給湯機の普及台数は、2005年比で約667万台(約10倍)の増加。

